

高齢者施設・療養型病院で発生する感染症には どんな特徴がある？

- 身体活動度の低い高齢者が集団で生活するという環境から、感染症が発生しやすく、重症化しやすい
- 人から人へうつりやすい感染症は、集団でのアクティビティを介して伝播しやすい



高齢者施設や療養型病院では、インフルエンザとかノロウイルス胃腸炎とか、感染症が流行しやすいイメージがあります。

そうだね。実際には、それ以外にもさまざまな感染症が発生しやすいと考えられているので、感染対策をしっかりして感染症の発生を減らすことが重要なんだ。



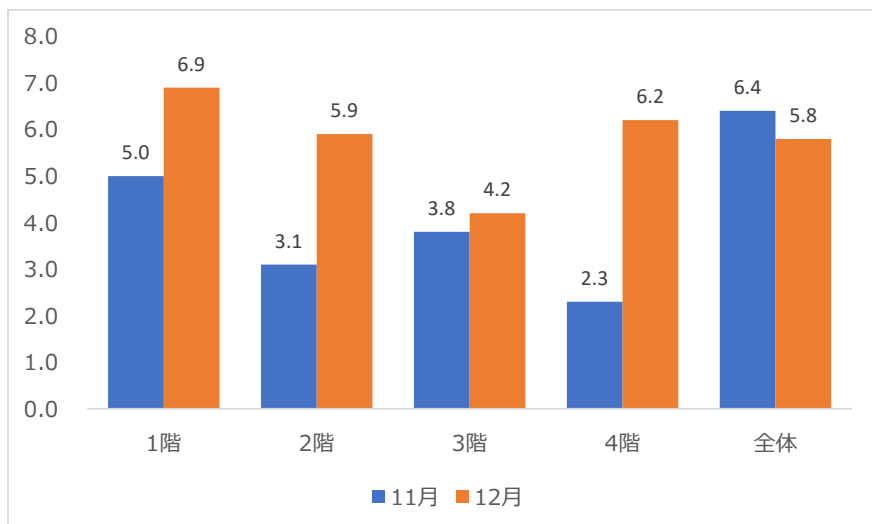
感染症の例	主な感染経路	感染対策上の注意点
一般的な呼吸器感染 (いわゆる風邪・気管支炎・肺炎・嚥下性肺炎・インフルエンザなど)	飛沫感染*1	・飛沫感染予防策や咳エチケットの徹底 ・抗菌薬治療の必要がない単なる誤嚥と区別がつけづらい ・単なる「風邪」であっても、施設内で流行させないように注意する ・口腔ケアを十分に行う ・口腔衛生・口腔ケア用品を清潔に保管し、汚染させない
尿路感染 (膀胱炎・腎盂腎炎など)	摂食感染・内因感染*2	・不要な尿路カテーテルは抜去する ・陰部を清潔に保つ ・陰部への耐性菌の付着を防ぐ
皮膚軟部組織感染 (蜂窩織炎・皮下膿瘍・褥瘡部感染・皮膚真菌症など)	摂食感染・内因感染	・皮膚を清潔に保ち、皮膚バリアを守る ・褥瘡対策を十分に行う ・普段からオムツ交換や入浴の際に皮膚を観察し、早く異変に気づく
消化管感染(胃腸炎・ ティフシル菌による腸炎など)	経口感染*3	・下痢や嘔吐などの症状から早期発見を行い、対策する ・発症者にケア後は、石けんを用いて十分に手洗いを行う
血管カテーテルに関連する感染	接触感染	・血管カテーテルを清潔に扱う ・輸液製剤や輸液ルートも清潔に扱う ・カテーテルの刺入部を毎日観察する ・不要なカテーテルは抜去する
疥癬	接触感染	・皮疹やかゆみに早く気づけるよう、普段から皮膚観察を習慣づける ・共用寝具などは避ける

*1：結核は空気感染など、特殊な感染経路のものもある

*2：主に陰部などに付着している微生物が尿道から侵入して発生する

*3：原因微生物は主に接触感染の形で運ばれ、口に入る

払い出し量による1患者1日あたりの擦式消毒用アルコール使用量



昨年、12月より病棟では、個人の手指消毒を2か月に1回交換を目安として交換した日をチェックし始めました。

1患者1日あたり20mlといわれているので十分使い切るとは思いません。全体的には11月・12月使用量が増えています。1回量もしっかり意識してまんべんなく擦り込みましょう。

手指衛生が標準予防策の重要な対策のひとつです。